

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実にに向けた授業改善

令和6年度 加良部小学校 研究主題と仮説

研究主題	情報活用能力の育成 ～問題解決のための情報活用～
仮説	目的に応じて情報を活用するための視点を明確にする手立ての工夫や、児童が課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫をすることで、情報活用能力を育成することができるだろう。
手立て	<ul style="list-style-type: none"> ○一連の学習活動における情報活用場面の設定 ○情報の活用方法について視点の明確化 ○児童が見通しをもち主体的に取り組めるような単元・ゴールの選定 <li style="border: 2px solid red; padding: 2px;">○「個別最適な学習」と「協働的な学習」の実現 ○情報の処理や共有における効果的な情報機器の活用

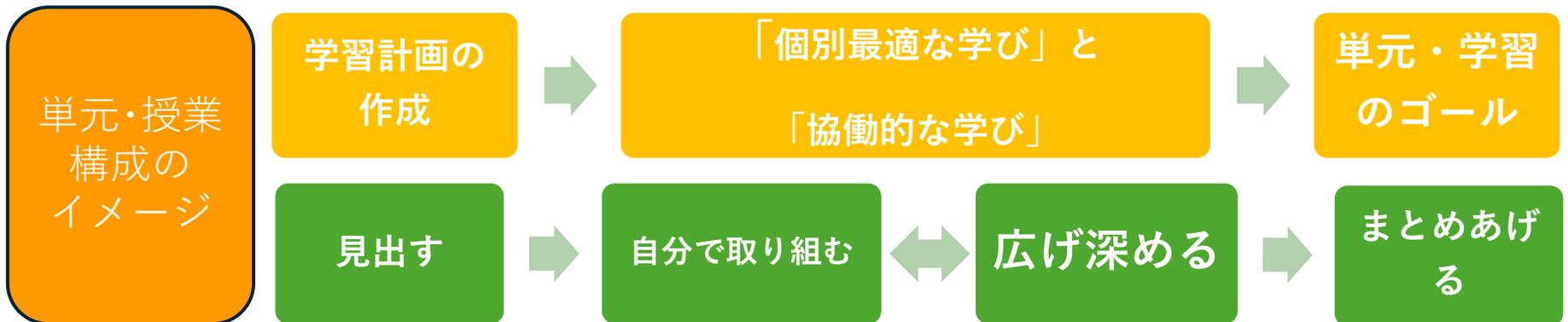
「情報活用能力の育成」を研究主題とし、**課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫**に取り組んだ。

千葉県教育委員会では、【見出す】【自分で取り組む】【広げ深める】【まとめあげる】という4つの学習過程を重視している。

【自分で取り組む】≡「個別最適な学習」

【広げ深める】≡「協働的な学び」

と捉え、授業研究に取り組んだ。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実にに向けた授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」は一方的なものではなく、学習内容や必要に応じて授業者自身が自由に選択できるものであるべきだということが実感できた。その実現のためには児童自身が選択できるような場作りがより一層重要となる。以下はその一例。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

自分で取り組む



広げ深める



＜2年生活科＞
町探検で得た学びを写真から振り返り、文章にまとめている。



＜4年総合＞
班での資料作成中に、別室に移動し個人作業に集中して取り組んでいる。



＜6年家庭科＞
洗濯の仕方について話し合い、考えた方法で実際に洗濯している。



＜3年図画工作科＞
コマ撮りを撮影する中で自然と友達同士での話し合いが生まれている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

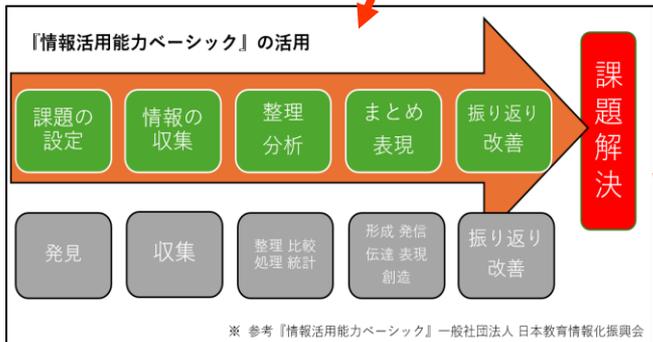
成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の視点の明確化

令和6年度 加良部小学校 研究主題と仮説

研究主題	情報活用能力の育成 ～問題解決のための情報活用～
仮説	目的に応じて情報を活用するための視点を明確にする手立ての工夫や、児童が課題に応じて学習方法を選択できる場の工夫をすることで、情報活用能力を育成することができるだろう。

手立て	<ul style="list-style-type: none"> ○一連の学習活動における情報活用場面を設定 ○情報の活用方法について視点を明確化 ○児童が見通しをもち主体的に取り組めるような単元・ゴールの選定 ○「個別最適な学習」と「協働的な学習」の実現 ○情報の処理や共有における効果的な情報機器の活用
------------	--



「情報活用能力の育成」を研究主題とし、どのように情報活用能力を育成するか、視点を明確にする手立ての工夫に取り組んだ。

授業者は『情報活用能力ベーシック』をもとにどのような能力を育成するのかという視点を明確にした上で授業を行うことで、児童の情報活用能力を向上させることができた。

【例：1年国語科】

7 本時の指導			
(1) 評価規準			
・お気に入りの本を読んで感じたことを動画に撮影し、紹介することができる。 <small>〔思考力 判断力 表現力等〕C (1) カ</small>			
(2) 情報活用能力の観点			
・本を紹介の様子をタブレットで撮影することで、自身の発表の様子を確かめ、改善点を見つけたり、よりよい発表へつなげたりすることができるようにする。(整理・分析)			
(3) 展開			
過程	次	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価 資料

<p>【自分で取り組む】【広げ深める】</p> <p>2 自分の課題に合わせて練習や撮影を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿を確かめる。 ・個人で練習を行う。 ・友達と見合い、助言し合う。 ・教師からの助言を受ける。 ・友達と撮影を行う。 	<p>・それぞれの学習進度を確認し、個に応じた声かけや支援を行う。</p> <p>○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。</p> <p>・本を紹介の様子をタブレットで撮影することで、自身の発表の様子を繰り返し整理・分析し、練習に生かすことができるようにさせる。</p> <p style="text-align: right;"><仮説への手立て></p>	<p>教師手本 (動画) (発表原稿)</p>
---	--	---------------------------------

指導案の中で情報活用能力について取り上げ、特に本時の展開の中で具体的に身に付けさせたい能力や手立てについて明記したことが有効であった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 教員間連絡機能のDX化

校務のDX化として、職員間の連絡機能のクラウド化を進めている。本校ではGoogleのサービスを利用しており、その内容によって、GoogleClassroom, GoogleChatを使い分けている。

 Classroom ストリーム	 Classroom 授業	 Chat
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な掲示板機能 ○どの端末からも閲覧可能 ○コメント機能で回答を得られる ▲検索機能がない ▲校務端末のデータを直接参照できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保存したい連絡事項の通知 ○トピックごとにまとめることで検索しやすい ○×切のある連絡をまとめられる ▲トピックの管理などが手間 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議など話し合いに利用 ・各委員会でスペースを作成し、資料の共有や議事録として活用 ○職員全体のスペースを作成し、急ぎの連絡などにも利用 ※今後指導案検討などのDX化にも利用していきたい
<p>(使用イメージ)</p> 	<p>(使用イメージ)</p> 	<p>(使用イメージ)</p> 